

環境方針

環境への取組の基本理念

東洋冷蔵株式会社は、地球環境に配慮しない企業は存続しえないとの認識に立ち、『企業活動のあらゆる面において地球環境の保全に努め、持続可能な発展を目指す』ことを基本理念とする。

企業活動の範囲

当社は、生鮮食品・加工食品などの輸入・製造・加工・保管・販売を行っていることをふまえ、以下の方針に基づき環境管理を行う。

1. 当社の活動、商品、サービスに係る環境側面を常に認識し、環境汚染の予防を推進するとともに環境マネジメントシステムの継続的改善を図る。
2. 当社の活動、商品、サービスの環境側面に係る法規、規制、協定等を順守するために自主基準を設け管理する。
3. 当社の活動、商品、サービスに係る著しい環境側面のうち、以下の項目を環境重点テーマとして取組む。また、1年に1回、環境関連内部監査を実施し見直を行う。
 - ① 消費エネルギーの大半をしめる電力使用量を削減する。
 - ② 水資源については、使用量を削減するとともに、汚濁物質が外部に流出しないよう予防措置をとる。
 - ③ 生産過程で発生する残さいは、歩留まり向上により発生抑制するとともに、分別及び再生利用を行う。
 - ④ 化学物質については使用量を把握し、適正管理に努める。
 - ⑤ 商品の保管・物流に関わるエネルギー使用量の把握を行い削減に取り組む。
 - ⑥ 容器包装は、簡易包装、軽量化により使用量を削減する。
 - ⑦ 紙資源使用量を削減する。
 - ⑧ 事務用品については、グリーン購入を積極的に行う。
 - ⑨ 冷蔵設備で用いる冷媒について、漏洩を防ぐとともに自然冷媒への変更を積極的に行う。
 - ⑩ 以上を取組むことにより、二酸化炭素の排出量を削減する。
4. この環境方針の達成のため、年度目標・中長期目標を設定すると共に、部・場所ごとに企業活動に根ざした行動目標を設定し、当社内の全部門の全従業員をあげて環境活動を推進する。
5. 水産資源をはじめとする生物資源を享受して事業活動を行っていることを自覚し、生物多様性への配慮及び資源の持続的な利用に努める。
6. この組織で働く、または組織のために働く全ての人およびその家族の環境意識を高め、全員で環境活動に取り組むとともに、地域・社会との協調をはかり、積極的な情報開示とコミュニケーションを行う。

2017年4月1日

東洋冷蔵株式会社

代表取締役社長

川上泰弘